

福岡リウマチ井戸端の会

IN アクア博多 - メディカルスタッフセミナー -



開催日時：2019年5月31日(金)

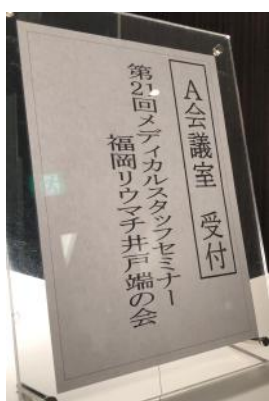
【参加者】

看護部：中野/井上/山下/福高

薬剤部：斜木

リハビリ部：鶴田/岡田/西野/城ヶ崎

メディカルスタッフセミナー



【話題提供】

「臨床試験のデータの見方の背景を見よう」

医療法人相生会 ピースクリニック 都留 智巳先生

【特別講演】

「リウマチ患者さんの深い痛みについて理解しよう」

福岡徳洲会病院 人工関節・リウマチ外科センター センター長
長嶺 隆二先生

痛みの理解「痛みの想像ができますか？」

セミナーのメインテーマは「リウマチ(RA)と痛み」の理解でした。

リウマチを発症した患者さんは、カラダの各関節に起こる痛みが日常生活に大きな影響を及ぼします。今回の講演では、痛みの種類や発生部位、症状の慢性化につながる要因など様々な観点から”痛み”を理解するための情報を発信していただきました。

- ① 痛みの要因についての報告 (外的 or 神経 or 心因 or 中枢 etc…)
- ② 関節内で痛みを感じやすい箇所についての報告 (リウマチでは滑膜が重要)
- ③ 関節内のヒアルロン酸成分の違いによる影響 (高分子 or 低分子)
- ④ 痛みが慢性化する要因 (度重なる関節の痛み+各関節の違う痛み)
- ⑤ 薬剤以外の疼痛管理について (教育/記録/心理/声掛け/手当)



「リウマチ智の会」のメンバーで参加してきました

講演で特に長嶺先生が言われていたのは、RA 発症初期の痛みを”慢性疼痛にはいけない”ということでした。そのためには「どうして痛みが起きているのか」「痛みの管理方法は何か適切なのか」を十分に理解し対応することが必要であり、それを実現するには、各職種の各スタッフがそれぞれの立場から協力することが重要ということでした。

最も印象に残ったことは、「痛みの想像ができますか？」と先生が繰り返し参加者に問いかけていたことです。リウマチ患者さんに限らず、私達が日々対応する患者さんは様々な”痛み”を抱えて生活をしています。今回、薬や治療以外の方法でも”痛み”を和らげることが出来るということや、痛みを理解し信頼してもらうことの重要性を再確認することができました。